

第2回 高知港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1. 日時

令和7年12月2日(火) 10:00~11:30

2. 場所

高知会館2階 白鳳の間 <WEB会議併用>

3. 議事概要

(1) 高知港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況

事務局より、先に行ったアンケートヒアリング結果などにより算定した高知港におけるCO₂排出量の推計結果及び削減目標について説明。

(2) 四国地方整備局からの情報提供

国土交通省 四国地方整備局より、港湾脱炭素化推進計画の全国及び四国内港湾での作成状況やコンテナターミナルのCNP認証等について説明。

(3) 経済産業省からの情報提供

経済産業省 四国経済産業局より、令和6年度補正予算における省エネ支援パッケージについて説明。

(4) 意見交換

主な意見等は3件で、以下のとおり。

No.	発言内容
1	<p>【意見】</p> <p>二酸化炭素の削減目標では、CO₂排出量のトン数で目標を設定しているが、業種によっては景気や業務量の増減で排出量が大きく上下することもあり、忙しい時期に排出量が増えると、単純なCO₂排出量だけでは削減の実態が見えにくい面がある。そのため、実際には排出効率など、別の指標もあわせて把握するという理解でよいか。</p> <p>【回答】</p> <p>CO₂削減量そのものは、2013年度と2023年度の基準値をもとに削減していくという目標。今後の社会情勢や企業活動の変動によりフォローアップしながら把握していく。</p> <p>もし実績と現在の計画値が大きく乖離していると判断される場合には、フォローアップの結果を踏まえ、この協議会の場で改めて提案していきたいと考えている。</p>

2	<p>【意見】</p> <p>高知市の特徴は、全国とは異なり、産業部門より家庭部門の排出割合が高い点であり、現在市として重点を置いているのは家庭部門の排出削減。</p> <p>高知港全体としては県域を広く見た排出状況を踏まえた議論になると理解しているが市の状況も加味していただけるとありがたい。</p>
	<p>【回答】</p> <p>今回、事務局として提案している「高知港港湾区域における取組」が一つの対象になるため、目安としては産業部門や運輸部門を指標として設定している。</p> <p>港湾以外の部門でも同じ方向に進む必要があるのは承知しているが、本協議会では「高知港・港湾区域における取組」が課題として位置づけられることになるので、その点をご理解いただきたい。(家庭部門の排出量や目標には触れない)</p>
3	<p>【質問】</p> <p>コンテナターミナルの CNP 認証について、今般の港湾脱炭素化推進計画が策定されていない場合、その港湾におけるコンテナターミナルの CNP 認証の対象にはならない、という理解でいいのか。</p>
	<p>【回答】</p> <p>基本的には港湾の脱炭素化推進計画が策定されていないとコンテナターミナルでの取組みを担保できないため、港湾の脱炭素化推進計画なしでは認証を得るのは難しい、という仕組みになっている。</p>